



# サービス 通信

富士重工業株式會社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO : FAS-046

DATE: 46年2月15日

1. 標題 錐揉旋転秒時の延長
2. 適用機体 FA-200の機体で製造番号#1~#126号機及び航技研機
3. 適用度 要望事項
4. 目的 昇降舵上げ側最大舵角を現行 $25^{\circ}$ から $30^{\circ}$ に増大し、錐揉旋転秒時（錐揉1旋転に要する時間）を延長する。
5. 指示 昇降舵のロッド組立、ホーン金具組立、ベルクランク組立を新部品と変更し、操縦桿下方ストッパーの調整ねじを変更する。
6. 実施時期 任意
7. 承認 航空局承認
8. 所要部品 この作業を行うには下記の部品が必要である。

部品番号	部品名称	1機当たりの個数
200-610004-101	ホーン金具	1
200-524152-101	ロッド組立	1
200-524040-101	ベルクランク	1
NAS 428-4-16	調整ねじ	1
AN 960-416L	ワッシャー	必要数
AN 160-416	"	"

9. 特殊工具 なし
10. 重量重心 無視し得る
11. 準拠資料 なし
12. 所要工数 3.0 MH

### 1.8. 作業手順

つぎに示す手順により昇降舵舵面連結部のベルクランク、ロッド組立及びホーン金具を新部品と交換し、操縦桿下方ストップバーの調整ねじ部を変更する。

- ✓ (1) サービス。マニアル 8-5-1 項により、昇降舵を取りはずす。
  - (2) 昇降舵の中央連結部にあるホーン金具を 4 本のボルトを取りはずし、新ホーン金具 (200-610004-101) に交換、再取り付けする。
  - (3) サービス。マニアル図 3-5 に示す後胴部左側点検カバー⑭をはずし、その点検口を利用して舵面連結部のベルクランク取りはずし作業を行う。  
ベルクランクの取りはずしは上索、下索及びロッド組立をボルトナットをゆるめ取りはずしベルクランク取り付け部のボルト。ナットをゆるめ、取りはずす。
  - (4) ベルクランクを点検口からとりだしロッド組立を昇降舵側からとりだす。
  - (5) ベルクランクを新ベルクランク (200-610004-5) に交換し、舵面連結部にボルト、ナットで取りつける。
  - (6) ロッド組立を新ロッド組立 (200-524152-5) に交換し、長さを  $460 \pm 1.0$  に調整し、ベルクランクに取りつける。
  - (7) エレベーターをサービス・マニアル 8-5-2 項により取りつける。
  - (8) ベルクランクに操縦索 (上下) を仮取りつけする。
  - (9) 操縦桿ストップバーの調整部分をつぎのように改修する。(図-2 参照)
    - a サービス・マニアル図 3-5 に示す操縦席下部点検カバー②, ⑦を取りはずす。
    - b 上げ側ストップバーの調整ねじ (NAS428-4-11) をロックナットをゆるめ、ストップバーから取りはずし、調整ねじ六角頭部側のロックナットを除去し、再取りつけする。
    - c 下げ側ストップバーの調整ねじ (NAS428-4-11) をストップバーから取りはずし、新調整ねじ (NAS428-4-16) に変更し、再取りつける。
- (II) つぎの手順によりエレベーター系統の調整を行う。
- a 操縦輪作動棒の孔と計器板ペアリングの孔を合せロック。ピンを挿入し、操縦桿を固定し中立位置にする。
  - b 舵面が中立位置になるよう上索を後胴部にあるターンバツクルで調整する。
  - c 上索の張力を  $48 \pm 5$  Lbs ( $119.3 \pm 2.3$  kg) 下索を  $37 \pm 5$  Lbs ( $116.8 \pm 2.3$  kg) に調整する。調整後ターンバツクルにクリップをかける。

- d 操縦桿下方にあるストップバー（図2参照）で上げ $30^{\circ}$ 、下げ $15^{\circ}$ の舵角調整を行う。
  - e 上げ舵角ストップバーは上げ $30^{\circ}$ IC調整ねじをセット後、ストップバーと調整ねじ六角頭部下面間の間隙量のAN960-416又はAN960-416L、ワッシャーを数枚準備し、調整ねじを取りはずす。
  - f 調整ねじ六角頭首下ICe項で準備したワッシャーを入れ、ストップバーIC取りつけロックナットで締めつける。
- (12) 取りはずした点検カバーを全て取りつける。

